

令和8年度入学試験問題（後期日程）

小論文

医学部 保健学科

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。
6. 解答する際の字体は楷書とし、ていねいに書くこと。

問 題

次の文章は、養老孟司氏の『ものがわかるということ』の一部です。

医療を取り巻く状況は日々変化しています。そのため医療従事者は、生涯にわたり学ぶ姿勢を持ち、その学びを実践に活かすことが求められます。この文章を読み、「身につく」とはどのようなことなのか、また、あなたがこれまでの経験で「身についた」と感じた学びを、今後の保健学の学びや実践にどのように活かしたいと考えますか。あなた自身の考えを 500 字以上、600 字以内で述べなさい。

非公開

非公開

非公開

(養老孟司 (2024). 『ものがわかるということ』 祥伝社, 29～38 ページ, 抜粋・一部改変)

令和8年度入学試験問題（後期日程）

小論文

医学部 保健学科

出題の意図

この課題文は、受験生の論理的思考力、主体性、そして将来の学びへの応用力を総合的に評価することを目的としている。「身につく」という概念を養老氏の文章をふまえて自分の言葉で説明させるのは、文章理解力と論理的に考える力を確認するためである。これは、琉球大学医学部保健学科のアドミッションポリシー（AP）における「論理的に物事を考え、科学的に解決する意欲」や「主体的に学ぶ意欲」に対応する。次に、自分の経験を問うのは、知識を行動に結びつける過程や試行錯誤の姿勢を評価するためである。具体的なエピソードの記述を通じて、主体性や自己啓発力、さらには仲間や指導者との協働経験が表れることを期待する。これは「主体的に学ぶ意欲」や「自己啓発し、多様な人々と協働できる人」という AP に対応する。さらに、将来の保健学の学びや実践への活用を考えさせるのは、学びの応用力と職業意識を確認するためである。保健医療の目的を理解し、生命を尊重して行動できるかどうかを見極めることが狙いであり、これは「主体的に学ぶ意欲」や「生命を尊重し、相手の身になって行動できる人」AP に対応する。字数制限を設けるのは、限られた条件の中で構成力や表現力を発揮できるかを評価するためであり、全般的に必要な基礎学力や文章表現力を確認する意図がある。